

# 原田治 展

「かわいい」の発見

Osamu Harada: Finding "KAWAII"

2024 12/21(土)ー2025 2/9(日)

休館日：月曜日、12/29-1/3 ※1/13は開館

10:00-17:00 (入場は16:30まで)

盛岡市民文化ホール 展示ホール

岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス4F



OSAMU  
HARADA

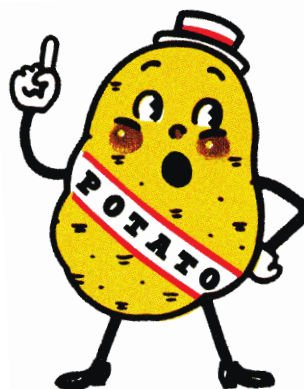
入場料：一般・大学生 1,000円(当日1,200円) 小・中・高生 500円(当日800円) ※未就学児無料 ※65歳以上の方、10人以上の団体、障がい者手帳提示の方(付き添いの方は1名まで)は当日、前売り料金で入場できます。前売券販売所：カワトク、アネックスカワトク、フェザン、東山堂、盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、キャラホール、姫神ホール、いわて生協(一部店舗を除く)、ローソンチケット(Lコード：20401)、岩手日報社事業部 主催：盛岡市文化振興事業団、岩手日報社、IBC岩手放送 共催：盛岡市 特別協賛：盛岡信用金庫 協力：コージー本舗、トムズボックス、パレットクラブ 企画協力：世田谷文学館 企画制作：コスモマーチャンダイズィング 会場設計：五十嵐瑠衣 アートディレクション：服部一成



スクールバッグ (OSAMU GOODS®)  
1992年  
© Osamu Harada / Koji Honpo



ショップバッグ vol.47 (OSAMU GOODS®)  
1989年  
© Osamu Harada / Koji Honpo



カルビー「ポテトチップス」など  
マスコットキャラクター  
1976年 作：原田治



ミスタードーナツ  
キャンペーン用キャラクター  
1986年



HUMPTY DUMPTY  
(OSAMU GOODS用原画)  
1970年代後半-1980年前半



「EXTRAORDINARY LITTLE DOG」  
作品集  
1981年 PARCO出版



浅田彰「逃走論」  
1984年 筑摩書房  
装幀：原田治



「an・an」第47号 1972年 平凡出版  
アートディレクション：堀内誠一  
表紙イラストレーション：原田治

## OSAMU GOODSよ永遠に

1970年代後半から90年代にかけて、女子中高生を中心に爆発的な人気を博した「OSAMU GOODS (オサムグッズ)」の生みの親、原田治。

50-60年代のアメリカのコミックやTVアニメ、ポップアートなどから影響を受けたイラストレーション——とりわけ、簡潔な描線と爽やかな色彩で描かれたキャラクターたちは、その後の日本の“かわいい”文化に多大な影響を与えました。

没後初の全国巡回展となる本展では、イラストレーターとして活動する端緒となった、1970年代「an・an」の仕事をはじめとして、広告・出版・各種グッズなど多分野にわたる作品を中心に、幼少期から20代前半の初期資料やエッセイ集『ぼくの美術帖』関連資料も交えて展示し、時代を超えて愛される原田治の全貌に迫ります。



原田治(1946-2016) 東京生まれ。多摩美術大学デザイン科卒業。1970年、当時創刊された「an・an」でイラストレーターとしてデビュー。1976年、「マザーグース」を題材にしたオリジナルのキャラクターグッズ「OSAMU GOODS」の制作を開始、女子中高生の間で大人気となる。1984年、ミスタードーナツのプレミアム(景品)にイラストを提供、以降シリーズ化され一世を風靡する。1997年、イラストレーターを養成する「パレットクラブスクール」を、生まれ育った築地に開設。主な著書に『ぼくの美術帖』ほか。

### 関連ワークショップ

消しゴムはんこづくりにチャレンジ!

①12月14日(土) ②1月11日(土)

盛岡市民文化ホール 第2会議室

詳細・お申し込みはホールWEBサイトをチェックしてね!



### 特設ミュージアムショップオープン

会期中、復刻商品など多彩なOSAMU GOODSを販売します。

### 問い合わせ

盛岡市民文化ホール Tel.019-621-5100

岩手日報社事業部 Tel.019-653-4121

## 盛岡市民文化ホール 展示ホール

岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス4F

もりしん



明治36年1月創立

盛岡信用金庫は、  
原田治展「かわいい」の発見を  
応援しています!

121年の感謝と これからも地域とともに  
あなたのそばに もっと身近に



盛岡信用金庫



信用金庫イメージキャラクター  
「信ちゃん」